



総合質管理(TQM)部ニュース

2025年11月号(第28号)



今月は、緩和ケア課とがん化学療法課の紹介です

第6回 紅葉会(遺族会)を開催いたしました。

10月5日~11日は、ホスピス緩和ケア週間でした。

緩和ケア病棟では、毎年遺族会を開いています。
今年も、第6回目の開催でした。
多くのご遺族の方に参加して頂きました。

左下の写真は、その時の様子です。



遺族会とは、家族を亡くしたご遺族が、他のご遺族と
気持ちや経験を共有し、支え合うための集まりです。

「同じ思いをされている皆様の思いも分かって気が楽になる」
「5月の節句に撮った兜をかぶったお茶目な父を思い出します」
「残された家族は故人を偲びながら生きていることに共感できた」
などのお言葉を頂きました。

また、講師をお呼びして、
みんなでアロママッサージを行いました。
皆さん気持ちよさそうでした。

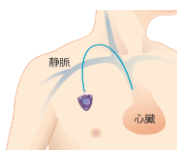
緩和ケア病棟で、アロママッサージ・
タッチケアの講習を予定しています。
ご興味のある方はぜひご参加ください。



文責) 緩和ケア認定看護師 新川 恵美

皮下埋め込み型ポート(CVポート)について -フラッシュ編-

- Central Venous access port -



今回は、CVポート使用後のフラッシュ方法についてです。

CVポート使用後は、「**パルシングフラッシュ**」を行きましょう!!



パルシングフラッシュとは
生理食塩液を数回に分けて注入
する方法です。
「3ml 注入→少し待つ」「3ml 注
入→少し待つ」を繰り返し断続的
にフラッシュすることで、ポート内やカ
テーテル内で乱流を起こして洗浄
力を高めます。

パルシングフラッシュのメリット
CVポートカテーテル内の
・血液の凝固や血栓閉塞を予防
・物理的に洗浄し感染リスクを低減
・薬剤の残存を防ぎ、次の薬剤投
与をスムーズにする

*使用するシリンジは **10mL 以上**の
シリンジを使用すること
(ポート破損予防のため)

カテーテルフラッシュに用いる生理食塩液の容量

薬剤・TPN(中心静脈栄養)注入後	生理食塩液10ml以上でフラッシュ
穿刺時、薬剤・TPN薬液の注入前 (血液逆流確認後)	生理食塩液20ml以上でフラッシュ
採血等血液を引き込んだ後	生理食塩液20ml以上でフラッシュ
輸血、脂肪乳化剤投与後	ただちに生理食塩液20ml以上でフ ラッシュ
長期非使用時 クローズドタイプの場合	90日毎に 生理食塩液10ml以上でフラッシュ
長期非使用時 オープンエンドタイプ	4週間毎に 生理食塩液10ml以上でフラッシュ



*使用前にCVポートの種類を確認する



通常のフラッシュ



パルシングフラッシュ

CVポートは正しく取り扱うことで長期に使用することができます。

(文責) がん化学療法看護認定看護師 佐藤 絵美